

EA715CA-16、-17 電子天秤



16



17

小型風防なし

特長

- RS-232Cインターフェイス内蔵(ケーブル別売)
- 充電式バッテリー(別売)で電源のない場所でも使用できます。(初回、交換時はメーカーでの別途取付が必要)
- 最小目盛: 1mg(EA715CA-16)、10mg(EA715CA-17)
- 防塵・防滴(IP65)
粉塵の舞う環境や水滴がつくサンプルの計量に最適
- 統計演算機能
本体に計量値の合計、最大、最小、範囲(最大-最小)、平均、標準偏差や変動係数を表示・出力

●ブザー搭載

キーの操作時やコンパレタ判定時にブザーを鳴らすことができます。(ON/OFF設定可能)

●高速応答(約1秒)

計量センサーシステムのもつ高速応答(約1秒)や高速安定性を維持し、コンパクトな計量器へ

●データ出力機能

オートプリント極性や幅設定、データ出力間隔、オートフィード、データ出力後のオートリゼロ^{※1}設定が可能です。

●床下秤量

床下秤量により、磁気をおびたものの測定や比重測定も可能です。(床下秤量金具標準装備)

●動物計量

計量値の平均値をホールド^{※1}することができ、動物も正しく量ることができます。

●g、個数、%、ct(カラット)、mom(もんめ)の5つの表示に切替可能

●「HI」、「OK」、「LO」のコンパレタ表示機能付

※1: 出力をデータとして出した後に、自動的に表示の数字をゼロにします。

●Windowsにデータ直送

RS-232C内蔵でRS-232Cケーブル(別売)を使用すると、ホームページ(<http://www.aandd.co.jp/adhome/support/weighing.html>)より、計量データをWindowsに取り込める専用ソフト: WinCT(Windows Communication Tools)をダウンロードすると、データをExcelやWordに読み込んだり、テキストファイルに保存できます。



RS-232C端子



USB端子

専用USBインターフェイス(別売)により、計量値をUSB経由でパソコンに送信可能

●GLP、GMP、GCP、ISO^{※2}(次ページ参照)に対応したデータ出力

プリンター(別売)との接続によりGLP・GMP・GCP・ISOで求められる、日付、時刻、ID、校正およびチェックなどの記録を残せます。日常の保守点検の記録管理に便利です。

記録例



機能

出力				GLP GMP GCP	表示モード					その他							
RS-232C	カレントループ	コンパレタ	ブザー		カウンティング	%	カラット	もんめ	動物計量	コンパレタ	SHS	データメモリ	アクリル風防	ACアダプタ	乾電池	内蔵バッテリー	壁掛け
○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	△	○	—	△	—	○

○ 標準装備

△ 別売品

仕様

品番	EA715CA-16	EA715CA-17
ひょう量	220g	2200g
最小目盛	0.001g	0.01g
再現性(標準偏差)		
直線性	±0.002g	±0.02g

安定所要時間 ^{※3}		約1秒	
感度トリガ(10°C~30°C)		±2ppm/°C(10~30°C)	
表示		7セグメントLCD(文字高:13.5mm)	
表示書換時間		約5回/秒、10回/秒、または20回/秒	
表示モード		g、pcs(個数)、%(パーセント)、ct(カラット)、mom(もんめ)	
個数モード	最小単位質量	0.001g	0.01g
	サンプル数	5、10、25、50、または100個	
パーセントモード	最小100%質量	0.100g	1.00g
	パーセント最小表示	0.01%、0.1%、1%(100%質量により自動切り替え)	
カラット	ひょう量	1100ct	11000ct
	最小表示	0.005ct	0.05ct
もんめ	ひょう量	58mom	586mom
	最小表示	0.0005mom	0.005mom
通信機能		RS-232C(標準装備)	
計量皿サイズ		φ 130mm	φ 150mm
機能		個数計測、動物計量、パーセント表示、統計演算など	
動作温湿度範囲		5°C~40°C、85%RH以下(結露なきこと)	
電源		ACアダプタ、AC 100V(50/60Hz)、消費電力:約11VA	
サイズ/重量		193(W)×262.5(D)×84.5(H)mm / 2.5kg	
付属品		ACアダプタ、小型風防(EA715CA-16のみ)、保護カバー	

※2: GLP、GMP、GCP、ISOとは

●GLP(Good Laboratory Practice)

医薬品の安全法に関する非臨床試験の実施の基準。
非臨床試験の動物における安全性試験データの質の信頼性を確保するため、
動物実験などの作業の標準化、記録、監査体制、機械、施設などを規定したもの。

●GMP(Good Manufacturing Practice)

医薬品の製造管理および品質管理に関する基準。
医療品の製造工程の各段階で品質管理を確保し、各種の汚染を防いで
良質な医薬品を製造するために、医療品の製造業者が遵守すべき規則。

●GCP(Good Clinical Practice)

医薬品の臨床試験の実施の基準。
被験者の人権と安全性の確保、臨床試験のデータの信頼性の確保をはかり、
適正な臨床試験が実施されること、すなわち、臨床試験が「倫理的」な配慮のもとに、
「科学的」に実施されることを目的として定められた法律。

●ISO(International Organization for Standardization)

国際標準化機構は、国際的に通用される規格や標準類を制定するための
国際機関。
ISOは、「物質およびサービスの国際交換を容易にし、知的、科学的、技術的」
および経済活動の協力を助長させるために世界的な標準化および
その関連活動の発展開発を図ることを目的としている。

これら上記の規則、および法律の遵守を証明するための
日付、時刻、ID、校正およびチェックなどの記録を行えます。

※3: FAST設定の代表値